



3ヶ月毎の発行となって久しいすたっふ通信。最近特に、「えっ? もうそんな時期?」と感じることが増えました。よく年を重ねるほど時間は早く過ぎる などと言われます。

ここで 19 世紀のフランスで生まれた「ジャンネの法則」というものをご紹介します。  
どこかで聞いたことがあるかもしれませんが、「年齢と時間の早さは反比例する」というものです。

10 歳の一年は 10 年分の 1 だが、50 歳の 1 年は 50 年分の 1。

つまり 50 歳の大人が感じる時間の長さは 10 歳の子供の 5 分の 1 ということらしいです。

もちろん個人差はあるのですが、何だか妙に納得させられる話ですね。

他には、楽しい時間は早く過ぎるのに、その反対は遅い…。 そうかと思えば、こんな経験はないでしょうか?

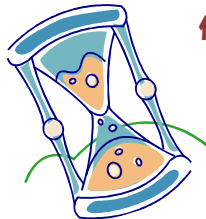
何とな〜くだらだらと過ごしていたらあっという間に時間が経ってしまった…。 (これはよくあるかも)

仕事や家事が面白いほどはかどって、1 日分が終わったのに、まだお昼!!

(こんなことはそうあることではないですね…(--))

私たちに平等に与えられている時間ですが、使い方と感じ方は自分次第。

さて、今年が終わるころ、私たちは、今年 1 年がどのような年だったと感じているのでしょうか…?



## 専務のこらむ

### 嫌われる先生ほどクラスがまとまる?

学生の頃こんな経験があります。

担任の先生がすごく厳しくて、どちらかと言うと生徒には嫌われている先生だったが、クラスとしては結束していてまとまりが良く、仲間割れする様な事はなかった。しかし、年度が変わり、その先生が転勤になってしまい、クラス替えは無かったが、後任にはとても優しい先生が来て、「あー今度は優しい先生で良かった。」とみんなが思ったが、逆にクラスの間関係が急に悪くなり、全体のまとまりが無くなった。

これは、後任の先生が悪かった訳では無く、前任の厳しい先生の時は、生徒の意識が先生へ向くのの精いっぱい、クラスメイト同士でのちょっとしたいざこざ程度は気にならなかったが、後任の先生の時は、余裕が出来てしまい、意識が横に向き、クラスメイト同士でのちょっとした事が気になる様になって来たからなのでは? と思います。

社会人になってから、これに似た様な経験無いでしょうか?

職場での人間関係が気になっている場合、ある意味平和な環境であるからこそその悩みなのかかもしれません。仕事が切羽詰まった状態で、意識がそちらへ行かざるを得なければ、同僚同士でのちょっとした事や、意味の無い事を気にする余裕は少なくなるでしょう。

職場での上司や同僚は残念ながら自由に選ぶ事が出来ませんし、こんなに単純な問題で無く、もっと複雑な場合もありますが、理屈を知っていれば多少は気が休まるかもしれません。

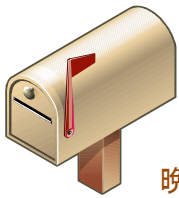
最後に松下幸之助さんの名言を 2 つお送りさせていただきます。

【すべての人を自分より偉いと思って仕事をすれば、必ずうまくいくし、  
とてつもなく大きな仕事ができるものだ。】

【他人はすべて自分よりもアカンと思うよりも、他人は自分よりエライのだ、  
自分にはないものを持っているのだ、と思うほうが結局はトクである。】



専務取締役 坂井 剛



## こおいやま便り

### ～「第17回 郡山シティマラソン大会」～

晩春の雨が降る中、過日、第17回郡山シティマラソン大会が、開成山陸上競技場で開催されました。今年はいにくのお天気でしたが、有森裕子さんをお迎えして、過去最多6,040人のランナーが安積路を力走しました。実は、担当しているスタッフや、日ごろお世話になっている社長も走るということで、私も興味しんしんでした。

それにしても、人はなぜ走るのでしょうか。

「健康」、「ダイエット」、「ストレス解消」、「チャレンジ」、「自分を誇りに思いたい」、「本能」、「達成感」、「前向きになれる」、「気分を変えたい」、「そこに道があるからだ」 などなど。皆さんいろいろですね。

マラソンの動機について、面白い海外ニュースを読みました。

男性はマラソンを競技としてとらえ、タイムや順位を気にする。女性は、走るという経験そのものやその時の気分を重視する。

男性は競い合っただけで上に行くことに心が向くのにに対して、女性は結果よりもプロセスのほうに関心を向ける。

男性はスリルを好み、女性は気分を好む。何となくわかるような気がします。



ところで、スタッフとお世話になっている社長ですが、見事に完走されました。拍手！

感想を聞くと、何と、「次はホノルルマラソンを目指します！」実に明るくすがすがしい声でした。

競い合うことより、経験することが大切なんだ。



郡山営業所 熊田 和雄

今回は福島佐藤憲司が担当です。

### さてさて今月のテーマは“LED 新時代”



LED 新時代と言われる昨今、みなさんは LED 電球をもう購入されたでしょうか…？

今や LED は家電はもちろん、携帯電話・自動車・信号機まで、生活してる上で必ずと言ってほど目にします。

そして当たり前のように家庭の照明も白熱電球や蛍光灯から LED 照明に変わっていくのでしょうか。

何が優れているのでしょうか？ 皆さんご存知の様に①電気代が安い②安全③環境に優しい④長寿命 他にも紫外線が少ない、虫が寄ってこない、割れにくい・・・といった優等生。

デメリットと言えば価格が2千～4千円と未だ高いといった事でしょうか。

でも年月と共に白熱電球並みのお金で買える時代はそう遠くはないかもしれません。

またその一方で消え行く白熱電球、東芝（正確には東芝ライテック）は120年に渡り製造してきた白熱電球を今年、生産を終了しました。生産最後となった3月17日、社長も出席された最後の点灯セレモニーが開かれその幕を閉じた場面テレビで感じました。

「ありがとう」「お疲れさま」の感謝の想いが込められていたんだと。

私の自宅はまだ、LED 照明ではありませんが、いつか役目を終え、換えられる白熱電球に対し「お疲れさま」と感謝の想いを込めたいと思っています。

そして LED が我々の生活を明るくするだけでなく、是非お財布の中も照らしてくれたらなぁと勝手に想像してしまいます…。



営業 佐藤 憲司

### ■マナーの壺 「会社の電話対応編②」前回の応用編です。

#### ○半径5メートル以内は要注意

昨今の電話機というものは本当に高性能で、かなり広範囲の音も拾ってしまうようです。10年前は確か、半径3mと言われていたと思いますが、最近は半径5m以上とか。真面目な話をしているそばで笑い声したり、取引先や同業者との電話に会社の内輪ばなしが聞こえてしまったら…。しかし周りで話されたら、何より集中できなくて困りますね。

#### ○取り次がれる方もひと工夫

席を外している間にかかってきた自分あての電話。席に戻り、取り次いでくれた人から用件を聞き、いざ自分が代るとした場合、どのように対応しているのでしょうか？ お電話代りました だけだと、相手はもう一度はじめてから話さなければなりません。しかし、〇〇についてですね、等と切り出せば、お互いの時間短縮にもなり、たらい回しのような印象も与えずに済みます。

たかが電話、されど電話。

顔が見えない分、ほんの少しの気配りが、大きな差を生むということなのですね。

土曜営業カレンダー  
＜2010年7月～8月＞

下記の土曜日は  
通常営業しています。

7月/3日・17日

8月/21日

9月/4日・18日

